

事務事業名	県高速道路消防連絡協議会参画事業		所属部局	消防本部		単位番号	13012																								
			所属課室	消防課		課長名	芦沢俊一																								
			所属担当	警防・救急係		担当者名	刀義仁																								
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																				
政策		06	安全な環境づくり	事業区分	01	一般	09	01	01	01	05	00	2																		
施策		08	防災体制の充実		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☒ 義務化されている協議会等の負担金																										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 14 年度)		法令根拠																												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)																											
	高速道路における消防、救急業務の実施に関し、関係機関相互の連絡調整を行い、必要な事項を協議し業務の円滑な実施に寄与すること。			<table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>法令外負担金</td> <td>62</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>62</td> </tr> </table>								項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	法令外負担金	62													計	62
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																											
	法令外負担金	62																													
		計	62																												

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	役員会・総会を年1回開催 協議会主催訓練への参加
23年度活動予定	役員会・総会を年1回開催
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
消防吏員	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・高速道路等の情報を共有できる。 ・高速道路関係団体から情報を入手できる。	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
高速道路の救急・救助・火災の的確な活動に必要な知識が身についた。	

⇒ ⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 役員会・総会への出席回数	回
イ 訓練等への参加回数	回
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 消防吏員	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 情報を入手できた件数	件
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 参加職員割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	62	62	62	62	62	62	
	事業費計 (A)		千円	62	62	62	62	62	62	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80	
		人件費計 (B)	千円	357	357	317	317	317	317	0
	(A)+(B)		千円	419	419	379	379	379	379	0
活動指標		ア 回		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		イ 回								
対象指標		ア 人		80.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	
		イ 人								
成果指標		ア 件		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		イ 件								
上位成果指標		ア %		4.0	13.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
		イ %								

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成14年3月30日中部横断自動車道の一部 (白根IC～双葉IC) 共用開始に伴い高速道路の消防、救急業を行うこととなった関係機関相互の連絡調整を図る目的で高速道路消防救急連絡協議会に
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	開始次期から比較して、中部横断自動車道が延長され相互の連携を図る消防本部が増加した
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☒ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	当該協議会において企画する事業に参画する事業であるため
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	県高速道路消防連絡協議会参画事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	------------------	-----	------	-----	-----

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 高速道路という特殊な形態の道路における消防・救急業務の実施には、関係機関相互の連絡調整が必要であり、結果的に市の施策体制に結びつくと思われる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 消防・救急業務は、市町村が行なう業務であり、その実施に必要な事業である。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 当該協議会において、高速道が通過する各消防本部にとって県下一つとなるのは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 当該協議会において、企画する事業に参画する事業であるため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 高速道路における消防・救急活動に影響する。 ☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 事業費は、管轄する高速道路の延長距離及び市の人口を基に、協議会が算定する負担金であり削減は出来ないと考えられる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] この事業に係る人件費は特になく、削減余地はないと考える。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 消防本部単位の相互連絡調整を行なうことを目的としているため、一部の収益者に偏るとは考えられない。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	高速道路における消防・救急活動には、関係機関の連絡調整が不可欠である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①訓練により、消防・救急業務の実施に関し、関係機関相互の連絡調整を図る。 ②高速道路等の情報を共有出来るようにする。 ③		成果優先度評価結果 対象外 コスト削減優先度評価結果 対象外																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
①高速道路の救急・救助・火災の的確な活動に必要な知識を身につける。 ②高速道路関係団体から情報を入手する。 ③																								